

年末増刊号のひとこと

年末増刊号ということで、CPS研究室の皆さんに年末に関するテーマに沿ってひとこと書いていただきました！

年末年始の 過ごし方



江口 諒

大学生になってからは小中の同級生で集まって飲み会をするのが恒例になっています。大半が他県に行ってしまったので久しぶりに会って色んな話をするのは楽しいです。



中野 功輝

実家の近くの寺で除夜の鐘について、友達と佐賀の天山に登って初日の出参りを行なうのが毎年の恒例行事でした。今年の年末年始は海苔バイトがあるので海で過ごします。



淵田 智彦

『無病息災』。今年の年末年始はなるべく人の多いところにはいかず、年明けに控えている様々なイベントに供えて健康なからだ作りを心がけようと思います。



吉田 海輝

年末年始は毎年地元で過ごしています。叔父が漁師をしており、年末年始は食卓に鰯が並びます。いつもと違って大勢で食卓を囲むことになるので帰省が楽しみです。鰯も楽しみです。



江崎 裕太

年末年始は大掃除して綺麗になった部屋で昼はゴロゴロして、夜はおせちやお酒を楽しみたいと思います。ついでに卒論を頑張りたいと思います。皆さんお疲れさまでした。



嘉松 悠陽

年末年始は毎年地元で過ごしています。叔父が漁師をしており、年末年始は食卓に鰯が並びます。いつもと違って大勢で食卓を囲むことになるので帰省が楽しみです。鰯も楽しみです。



DONG XIYING

今年も実家に帰れないですのので、友達と一緒に過ごします！中国では年末年始と春節に餃子を食べますので、餃子も作ろうと思っています！コロナが早く収束して来年両親と一緒に過ごしたいです！





川口 修平

年末年始は、実家に帰省(寄生)しようと思っているので、昼はこたつ、夜は布団、基本はなにもしない生活を送るつもりです。あとはおせちにお酒を楽しむ予定です！

田中 天陸

年末は家の大掃除を行おうと思っています。先日、一番の強敵と思われたガスコンロ周りとの戦いに勝利しましたが、残る場所も難敵なので心してかかりたいと思います。



江口 大雅

今度の年末は束の間の休息として、しっかりとRIZINを見てお酒でも飲んでゆっくり過ごせたら良いなと思っています🍷
みなさんのRIZINの感想お待ちしております(´ー`)ニヤリ それでは良いお年を～

川崎 心温

年末は家族でテレビを見ながら年を越します。年始は朝早く初詣に行き、その後は家でおせちを食べたりしてみんなでのんびり過ごします。今年ものんびり過ごせると良いなと思っています



東 楓子

年末年始は卒論のことを考えつつ、長崎に帰省して家族や親族に会ったり、のんびりしようと思います。うちでは毎年恒例なのですが、大晦日の夜は近所のお寺に鐘撞に行く予定です。

大岸 祐依

年末年始は実家に帰省してゆっくり過ごせたらいいなと思っています。ここ数年は、コロナの影響で長期休みに帰省できないこともあります。家族との時間も大切にしたいと思います。



河本 大志

一人暮らしを始め実家の猫と触れ合う機会が少なくなりました。年末は帰省してしっかりネコ成分を補給し、豊かな気持ちで新年を迎えようと思います。

近藤 佑介

私は年末年始、祖母の家のある嬉野で過ごす予定です。嬉野温泉はもちろん足湯や足蒸し湯に入り、嬉野茶や温泉豆腐を食べ卒業研究での疲れを取ろうと思います！



中岡 友伸

年末年始は実家の方でゆっくり過ごす予定です。コロナがまた流行ってきていますが、就職する地元の友達が多いので、会って話す機会があればいいなと思います。

シルミ

The grateful thing of this year,

1. I came to Saga and having new friends. 2. Beyond my expectation, got 29/30 on kanji and 87/100 at Nihongo mid-exam. I wish I could improve my Japanese Language and do the great thing.



大岸 真依

年末年始は、毎年基本的に地元の神社に初詣に行くのですが、今回は佐賀市にある神社に行けたらと思っています。もう4年くらい佐賀に住んでますが、何気に普段行かないことにふと気づいたので行ってみようと思います。



バルーンボランティアのお誘い

3年ぶりに開催された佐賀インターナショナルバルーンフェスタ、みなさんは行かれたでしょうか？実は佐賀のバルーンフェスタは全てがボランティアで運営されていることをご存知でしょうか？バルーンを見るのも楽しいですが、ボランティアでバルーンフェスタに参加するともっと楽しいですよ。私も2014年からバルーンボランティアに参加しています。朝早いし肉体的にもきついです。バルーンの立ち上げ・回収、ボランティアにしかできない写真撮影、もしかしたらバルーンに乗れるかも！、など楽しいことがたくさんあります。

ボランティアの募集は8月から9月ぐらいに始まるので、興味のある方は応募してみてください。ボランティアの内容などについて疑問などありましたらありましたら遠慮なくお尋ねください。

(参考URL <https://www.sibf.jp/>)

執筆:江藤 博文



今年を
振り返って



松本 直樹

今年は大大学院に入学して、学部時代の授業と課題に加えて研究や学会参加などやるべきことが増えました。しかし、それに対するやりがいも感じる事ができて楽しかったです！

福田 奈々

今年を振り返るとすぐに思い浮かぶことは院試です。今まで受けてきた試験の中で一番緊張しました。当日は周りに一緒に試験を受ける研究室の人たちがいたので、メンタル面ですごく助かりました。

山口 真琴

今年の印象に残っていることは、就活です。これまで避けてきた自己分析を通して、自分自身を考え直すいい機会になったと思います。あとは、残りの学生生活を存分に悔いなく楽しみたいですね！

春口 達也

今年1年で大小20のライブに参戦し、アカペラサークルでは主催ライブの運営やPAと呼ばれる音響人材の育成、今年から作譜にも挑戦しました。研究も含めると1日10時間以上音楽に触れる1年でした。

高柳 美保

今年一年を振り返ってみると、就職活動が一番印象に残っています。自分がしたいことを見つけるのは難しかったです。たくさん自己分析をして、自分自身と向き合ういい機会になりました。

山口 大貴

今年自分の研究や環境が大きく変化する中、面倒を見ていただいて本当にありがとうございました。また、研究室では皆さん親切にしてくださりありがとうございました。今後も気を抜かず頑張ります。

松村 碧海

今年一年は、卒業研究を頑張った一年でした。計画を立て、実行する、そしてその内容を発表するという、これからの人生にも役に立つであろうことを学ぶことができました。



相田 錬人



今年は散々な一年でした。就活がとても大変で2度としたくないなと思いました。来年は卒論も書かなければいけず憂鬱なので、頑張っ生きてよと思いました。

森本 大貴



今年を振り返って就職活動で会社説明会やインターンシップなどに参加し、濃厚な一年を過ごせました。来年の3月から本採用が始まるのでさらに気を引き締めて頑張っていきます。

吉田 京平



今年は研究・学会参加・授業など特に忙しい1年でした。来年も就活・修論と大変なことが控えているので、計画的に進めてより良い1年にしていこうと思います。

河原 杏香



今年は大学院に進学し、研究に対する姿勢も変わりステップアップした1年になりました。しかし、体調を崩しやすかったため、今後はしっかり体調管理していきたいです。

来年の目標



瀬戸口 雅裕



来年の目標として、大学院への進学が決まっているので研究や授業もより一層力を入れ、趣味ばかりするのではなく、メリハリつけて過ごしていければいいなと思います。

古賀 光稀



来年からは一人暮らしになるので、自炊を頑張りたいと思います！今まで料理をしてこなかったので大変だとは思いますが、少しずつ上手くなればと思います！

徳丸 拓希



来年の目標は「仕事と趣味を両立させること」です。来年から新社会人・フルリモートという慣れない環境になるので、仕事と趣味を両立して健康的な生活を心がけたいと思います。

谷口 啓太



大学生活を通して、大学4年の12月中旬に初めて、39度越えの高熱になり、苦しい思いをした。そこで来年は病気に負けない体作りを日々行っていきます。

羽根 由恵



ようやく新型コロナとの付き合い方が変わりつつあります。今年も色々なことに制限が付きましたが、来年こそは学生がもっと自由に行動出来ることを願っています。

山田 将司



来年から社会人なので、運動不足解消に取り組みたいと思います。とりあえず第一歩として1月1日から筋トレに取り組みます！（2年前も同じようなことを言ってきましたが今回は本気です。）

のの
の
へ

松永 勇樹



来年は就職活動が本格化するので、自分の第一志望の企業から内定を頂くことが目標になります！就活が終わったら、今度は卒業できるように研究をがんばります！

江藤 博文



今年もコロナに翻弄された一年でしたが、ウィズコロナが浸透してきたため通常の生活がもどりつつあります。来年は学生が参加できるイベントや呑み会を行えることを期待します。

福田 修



研究に取り組む姿勢や内容が毎年高まっていることを心から嬉しく思います。コロナもだいぶ落ち着いてきましたし、来年は海外で開催される国際会議に学生を連れて参加したいと考えています。

宮川 俊二



来年の目標は、運動不足の解消をしたいです。コロナ禍で家から出ることが減り、運動をする機会が減っていったのでランニングなどからできたらなと思っています。

吉澤 亮



今年の研究を進める上で、その難しさに悩まれた年でした。研究テーマから考え、サーベイと試行錯誤の繰り返し、実験の計画と実行の難しさを実感出来ました。来年はこの経験を生かしていきたいです。

奥村 浩



新カリ生がCPSのほとんどを占めるようになって、研究室内の学生さんのポテンシャルがとてもアップしているように思います。来年はベトナムを中心に学生や先生方の交流を活性化したいです。

山口 信彦



新型コロナウイルスに対する出張規制が緩和されつつあり、今年は久しぶりに先生・学生さんと研究出張ができました。来年も先生・学生さんと良い研究・楽しい研究出張ができればと思います。

明石 華実



新しい環境になるのを機に、夜型の生活リズムを改めたいと思います。早く起き、愛犬の散歩をしたいと思います。また、運動不足解消の為に、テニスを再び始めたいと思います。

「皆本先生と対談」(その1)

教員の山口です。こんにちは。先日、個人的に興味がありましたので皆本先生にお願いして皆本先生と山口研で対談してみました。皆本研とCPS研との違い等が分かればと思います。

【対談】 山口先生：まず、皆本先生・廣友先生・木村先生の研究室は「DS研」という名前よろしいでしょうか？

皆本先生：DS研だね。

山口先生：では「DS研」とはどのような研究室でしょうか？

皆本先生：平たく言うとDS＝「データサイエンス」という言葉になるんだけど、もともと、僕が九州大学にいた時、「ディスカバリーサイエンス（発見科学）」というのを立ち上げた。有川節夫先生（山口注：九州大学の総長を務められ、現在は放送大学学園理事長）が発見科学講座を作ろう！とって日本で初めて発見科学講座というのが出来ました。

山口先生：はい。

皆本先生：それは、たくさんのデータから新しい「サイエンス（法則）」を導こうという試みで、つまり、たくさんのデータから微分方程式が導けないか？とか、新しい科学的な法則を探せないか？という試み。それが90年代の終わりの話で、僕から見るとDSと聞くと「ディスカバリーサイエンス」。その流れを汲んだ形の「DS」研。

山口先生：なるほど。

皆本先生：要するに、データからという所は一緒。「データサイエンス」の方は導こうとしているのが何でも良いので新しい知見。世の中の役に立つのなら何でも良いという考え方ね。一方「ディスカバリーサイエンス」の方はサイエンスに貢献する。例えば新しい物理の法則とか、新たな微分方程式を発見するとか、を意識した「DS」研。だれも気が付いていない理学的な新たな法則を導き出す、というのが壮大なロマン。

皆本先生：そういう意識があるので、データサイエンスコース（博士前期課程）の目的の所をよく見てもらえれば「データから”法則”を発見する」というのが書いてある。新たな法則を発見する所が佐賀大学データサイエンスコースの全国的な特徴。（つづく）

執筆：山口 暢彦



編集後記

こんにちは、広報係の河原です。

今回の背景画像は江藤さんから提供していただいた写真です。素敵なバルーンのお写真をありがとうございます！

2022年もお疲れ様でした！みなさんの広報誌への執筆のご協力のおかげで、今年もとてもいいマガラボになりました。来年もよろしくお祈りします！

年末年始は体調に気を付けてお過ごしください。よいお年を！



撮影：江藤 博文